

報告事項 サ

「梅田萱峯弥生墳丘墓」について

「梅田萱峯弥生墳丘墓」について、別紙のとおり報告します。

平成19年10月12日

鳥取県教育委員会教育長 中永廣樹

うめだかやうねやよいふんきゅうぼ
「梅田萱峯弥生墳丘墓」について

文 化 課

埋蔵文化財センターで行っている平成19年度一般国道9号（東伯中山道路）の改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査において、下記のとおり貴重な遺構が発見されました。

- 1 遺 跡 名 梅田萱峯遺跡
- 2 遺跡所在地 東伯郡琴浦町大字梅田（赤碕中山IC付近）
- 3 調査期間 平成19年4月5日～10月上旬（予定）
- 4 発見した遺構 弥生墳丘墓※ 1基

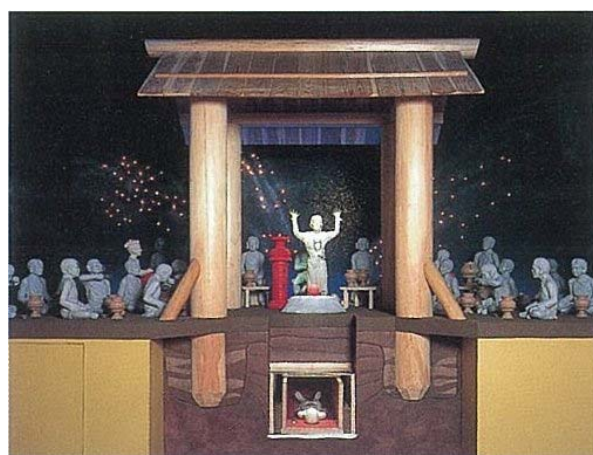
5 内容と意義

- 梅田萱峯弥生墳丘墓は、県内最古級（弥生時代中期末葉（約2000年前）の築造と考えられる）の墳丘墓で、首長墓として初源的なものと考えられる。
- 遺体を納める穴（主体部）の周りに4つの柱穴があり、柱で囲まれていたことが判明した。主体部を囲む墓上祭祀施設としては、現時点で山陰最古の事例と思われ、墓上祭祀施設の系譜を考える上で極めて重要である。まえばるしひらばる
- 〔類例：出雲市西谷3号墓（弥生時代後期後葉）、福岡県前原市平原1号墓（弥生時代終末）〕
- 山陰地域における、地域首長の初源期の墓の在り方を明らかにする貴重な遺跡である。

※弥生墳丘墓…弥生時代に盛土によって築かれた首長の墓



梅田萱峯弥生墳丘墓（南から）



墓上祭祀施設の復元例（出雲市西谷3号墓）

【参考】

同時代の遺跡である妻木晩田遺跡をはじめ、県内各地で弥生墳丘墓が73基見ついているが、今回のような墓上祭祀の例が見つかったのは初めて。